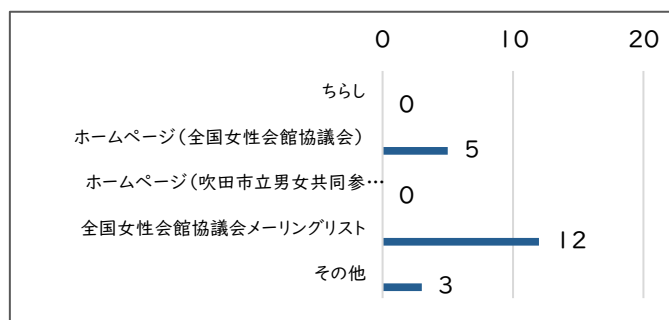


2021年度「広報事業担当者のための課題解決・実践オンライン研修」  
受講後アンケート集計結果

【開催日時】令和3年（2021年）12月14日（火） 午前10時～午後4時  
【受講者数】22人 【アンケート回答数】21人（回収率 95%）

問1. 今回の研修をどこでお知りになりましたか？

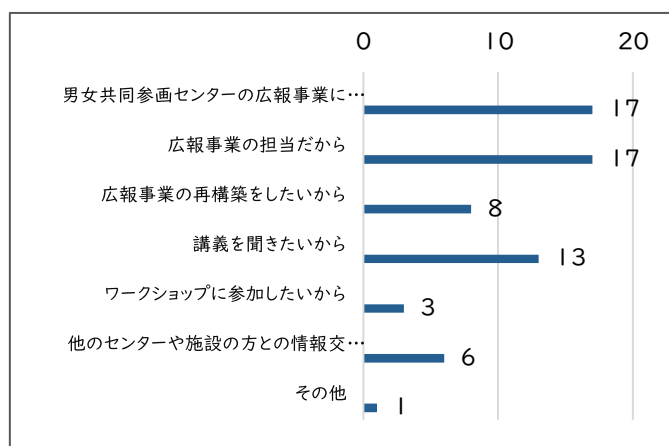
ちらし	0
ホームページ(全国女性会館協議会)	5
ホームページ(吹田市立男女共同参画センター)	0
全国女性会館協議会メーリングリスト	12
その他	3



\*その他…社員研修の一環として参加、上司から

問2. 今回の研修に参加された動機をお聞かせください。（複数回答可）

男女共同参画センターの広報事業に関心があるから	17
広報事業の担当だから	17
広報事業の再構築をしたいから	8
講義を聞きたいから	13
ワークショップに参加したいから	3
他のセンターや施設の方との情報交換がしたいから	6
その他	1



問3. 講座の満足度と感想をお聞かせください。

(1) 講義①「男女共同参画センター・女性センターにおける広報事業の現状と課題」について

大変満足	18
やや満足	3
やや不満	0
不満	0

【感想・理由】（※一部抜粋しております。）

- ・センターの役割と運営の難しさを感じている状況での、広報の役割の大きさをひしひしと実感した。世代毎の視聴する媒体の違いを知れたので、それに合わせた文章やデザインを作成して惹きつけられる

広報をしていかねばならないと思う。

- ・あらためて広報事業の位置づけ、大切さが分かりました。現在、事業と広報誌の担当を兼ねていますが、共通することがいっぱいあり、ほんの少しの意識、行動が変わる冊子（または事業）を心掛けていくことや啓発はもちろんですが、気づいていない人に気づいてもらうことが必要だと強く思いました。
- ・事業や広報の悩みや課題はどのセンターも同じみたいです。「誰に、何を、報せたいのか」を念頭に、SNS ツールを活用してどう興味を持ってもらうか、また情報が届いていない人や課題に気づいていない人に届けられる広報に取り組んでいきたいと思いました。
- ・「男女共同参画センター事業の意義と特徴」「男女共同参画センターの基本構造」のところで、「男女間の不平等を解消することで、みんなに同じ事業を提供することではない」「一体で切れ目ない総合的な活動」という話を聞いたのが特に印象に残っています。改めて、頭に入れて事業企画や業務をしていこうと思います。
- ・普段の業務で忘れがちな男女共同参画センター事業の意義やおかれている環境について再確認することができた。昨今はSNSをはじめとしてWEB媒体をどうするかということに目が行きがちであるが、講義中に出てきたデータなどを見て、紙媒体もWEB媒体も両方大切にしなければいけないと気づかせてもらえた。
- ・広報について、しっかり学んだことが無かったので、基本を学べて大変勉強になりました。
- ・センターにおける広報の役割・立ち位置がとてもよくわかり、広報の重要性を改めて強く感じました。また、チラシの作成についても参考になりました。坂田様の著作を読みたいです。
- ・「誰に、何を、どこで伝えるのか」当たり前ではありますが、大切なことを再確認しました。年代別のメディアの使い方や数字の表現方法など、具体的な情報も参考になりました。それらを利用しながら、「広報に万能なものはなく、戦略を練って」自ら考えて実践していきたいと思います。
- ・特殊な施設である男女共同参画センターの広報事業について、入口としてとても分かりやすくお話をしてくださいました。ありがとうございます。
- ・facebook を使っている団体が多いことに驚いた。チラシは作成に自由度がないため活かせず残念。（全事業統一のフォーマットを決めてしまっているため）
- ・これまで学んできたことと重複するかと思っていましたが、新しい発見もあり、うっすら感じていた女性センターの厳しい現状がこちらの地域の話だけではないと分かり、勉強になりました。

## (2) 講義②「効果的な情報発信とは～アナログからデジタルまで～」について

大変満足	15
やや満足	6
やや不満	0
不満	0

### 【感想・理由】

- ・SNS について、とりあえず開設しましたものの、フォロワーや「いいね」等数値が伸びず、八方塞がりでしたが、お話を伺いとても参考になりました。早速、実践いたします。

- ・ SNSの活用が課題になっていたため、どのようなアプローチでフォロワーを増やしていくかリツイートにつなげていくかを知りたいと思っていました。「ジェンダー」という言葉が社会で飛び交い始めた今こそが、男女共同参画センターを知ってもらえるチャンスだと思っていますので、関心がある若年層から、ない方にも SNSには一先ず覗いてもらえるPRしていきたい。
- ・ 事業計画に広報計画を盛り込んでいくことやデータの結果の分析やそういった体制を整えていくことが必要だと思いました。SNSでの広報の仕方等、具体的に教えていただき、参考にしたいと思いました。また誰のために、何をするか、もう一度深く考えていきたいと思います。
- ・ 限られた時間の中ででしたが具体的な内容でとても分かりやすかったです。盛らずに伝えること、トラブル対応など参考にさせていただきます。欲張るとすれば、若い世代が普段から SNSをどのように利用しているのか、人目につく効果的な配信の裏技等、あれば教えていただきたかったです。あと、どのセンターもオンライン開催が多くなっていると思うので、「チラシミュージアム」で館と館が繋がると面白いかも、と思いました。
- ・ まさにこれから、若者の来館者を増やすために SNSを始めなければ…！という話が出ていたところだったため、ツールごとの特色などをそれぞれご紹介いただけたのは大変助かりました。ハッシュタグや lit リンクなどのことや、ツイッターでの発信成功事例なども知ることができ、勉強になりました。
- ・ Facebook や Twitter、Instagram それぞれの特性について、わかりやすくお話いただきました。できないことではなく、できることを継続的に行っていったらよいと思いました。
- ・ 個人的に今回最も興味があった SNS を使った広報について話していただき、非常に参考になった。特に、Instagram をうまく使っていくために、別の WEB サービス (SNS を) を使うというのは今まで無かった視点であった。今後いろいろ調べてみたいと思った。一番知りたかった Instagram の講義部分が音声トラブルで聞き取りにくかったのが残念であった。
- ・ インスタグラムの開設を予定しているので、リアリティーがあり参考になりました。また、炎上時の対処法など大変勉強になりました。
- ・ SNS で周知しても、集客につながらないケースが多々あり、落ち込む日々もあります。講師のお話を伺って、フォロワーは少ないけれど、続けていこうと思えました。
- ・ 日常のルーティンに追われて後回しになりがち「結果をシビアにチェック」したいと思いました。
- ・ こちらは、おそらく全国の男女共同参画センターに一番足りていないものであるかと思いました。若い方に興味を持っていただくにしても、こちらは不可欠だと思います。グループに分かれてお話した際も、SNS の件はかなり重要なものであるという意見が多く聞かれました。
- ・ 事業に情報発信は重要であること、ハッシュタグがなぜ効果的なのかを学びました。トラブルの対応について教えて頂けて良かったです。
- ・ Twitter やインスタグラムの活用方法が一番知りたい内容でしたので、もっと時間をかけて学びたかったです。
- ・ アナログ編とデジタル編での事例検証を比較しての講義は、解りやすく良かったです。デジタル編では、デメリットの部分もトラブルとしてきちんと説明していただき、アナログ世代の私としては、とても勉強になりました。

### (3) 講義③「読まれる啓発誌にはワケがある」について

大変満足	21
やや満足	0
やや不満	0
不満	0

#### 【感想・理由】

- ・講師の視点が気になっていた点を鋭く付いてとても共感できました。いつも心がけておくべき事柄がいくつか学ぶことができたので、今後の広報づくりに活かせるのではないかと思います。
- ・広報誌を例にとって具体的に教えていただいたことが分かりやすかったです。今後気を引き締めて取り組んでいきたいと思います。また何か次に行動に移せるきっかけとなるような出口情報を載せることもしていきたいと思いました。それは講座でも共通しているので、講座終了後に例えば図書のご案内、相談窓口のお知らせ等をする等、次につなげる仕掛けを工夫していきたいと思います。
- ・他館の情報誌を教材に率直な言葉で添削していただいたのが分かりやすかったです。まずは広報物を手に取ってもらわなければ。なるべく伝わりやすい言葉遣い、表現やイラストをみつけて工夫したいと思います。
- ・広報の専門家から、他館の情報誌への意見が聞いて良かった。これが一般的な感覚などだと思う。職場内や行政機関の中だけで校正を回しているだけでは出てこない感覚、意見を知ることができて良かった。
- ・実例をたくさん出していただき、参考になりました。正確な情報を、責任をもって発信すると同時に、見やすい楽しい誌面の作り方など大変参考になりました。読者を増やす、ファンを増やすことを目標にしたいと思います。
- ・講師のお話がわかりやすく、楽しく拝聴できました。なぜ、県民に届かないのか？わかった気がしました。「間に合ってます」「知らなくていい」と思われたいような、言葉や視線を持ちたいと思います。
- ・当館の過去の情報誌に関して、とてもわかりやすく、厳しく仰っていただき、大変ありがたく思いました。次号から、私が情報誌を担当するため、先生のご指摘がとても勉強になりました。
- ・専門家からの広報誌のチェックが興味深かったです。「男女共同参画という言葉自体に固く重苦しい印象がある」「説教くささが面倒な印象を与える」「文書ぎっしりは×、中見出し必要」、どれもすごの得ていて、なるほど！ということが多かった。まずは手に取ってもらえること、読んでもらえること。読み手側に立った広報誌作成を心掛けたいです。
- ・さすがの話術と理論で、とても面白かったです。ぜひ次から役立てたいと思いました。男女共同参画に関わりのない方の「男女共同参画」に対する率直な印象や意見が聞いて、そういった意味でも大変勉強になりました。女性センターに対するメッセージにも勇気づけられました。
- ・プロの眼からみた広報誌の批評であり、吉田三千代先生の講義を聞いてから納得して感じ得ました。基本のきをしっかりと完全なものにし、専門用語を誰もが親しみやすい言葉に具体化するという事です。心を鷲掴みにするようなチラシや広報誌を作成していきたいです。

#### (4) 意見交換(全体ワーク)について

大変満足	12
やや満足	8
やや不満	1
不満	0

#### 【感想・理由】

- ・他のセンターの皆さんと情報共有できて良かったです。新しい発見を得ることができました。
- ・他センターでの現状を知ることができた点は良かったです。ただ、自身の聞きたいことがまとまっておらず、時間にも余裕が無かったこともあり、相互に伝えきれない点があったように感じた。
- ・全国のセンターの方と短い時間でもお話でき、情報を共有できることでモチベーションもアップするのでよかったですと思います。
- ・同じ悩みに共感したり、パワーのある意見に元気がもらえたり、事業に繋がる発想がうまれることもあって、いつも有意義に思います。
- ・時間が短かったです。他のセンターの方の課題等を共有することができて、良かったです。
- ・他館の広報の状況を知ることができて良かった。やはり 10～15 分では時間が足りず、もう少し時間が取れば良かったと思う。
- ・時間配分が難しかったです。コロナ禍でも全国の女性センターの方々が奮闘しておられる状況を共有でき有意義な時間を過ごせました。なかなかうまく自分の考えをまとめて話すことができないので、もっと勉強して意見をはっきり言えるようトレーニングしたいと思います。次回はリアルでお会いできるといいですね。
- ・各館の担当者の顔が見れた。今後連携を取り新しいことにチャレンジしていければ良いなと考えている。
- ・他センターの方のお話をお伺いして、似たような悩みを抱えているところもあれば、一歩も二歩も先を行った課題に直面されているセンターさんもあり、とても興味深かったです。今回の御縁を元に、センター間の課題を共有して一緒に解決していけたらいいなと思いました。
- ・もう少し時間が欲しかった。またリアルじゃないためほかの参加者と交流が難しかった。
- ・抱える悩みも多いですが、全国の同じ立場で働くもの同士で話せて、元気をもらえました。
- ・「どこも悩みは同じだな」という感想が残った印象で、和気あいあいと交流するのが目的なら良かったかもしれないのですが、1時間かけるほどの発展性はなかったように感じました。
- ・全体ワークでは、なかなか担当が決まらず、意見交換の時間配分が聞き取れず、戸惑いましたが、自己紹介をはじめ、お話をするようになってから各地のお天気状況などをお話して、和気あいあいとできました。

問4. 知りたいと思った情報を知ることができましたか。

はい	21
いいえ	0

問5. 新しい見方や考え方を知ることができましたか。

はい	21
いいえ	0

問6. 課題解決の糸口が見つかりましたか。

はい	20
いいえ	1

問7. 今後の広報事業において、何をしたいか、何をすべきか明確になりましたか。

はい	21
いいえ	0

問8. 今回の研修の成果の活用方法や感想などご記入ください。(自由記入)

- ・今回の研修で学びましたことを活かしまして、目標に向かい進みたいと思います。これから自分は何をすべきなのか、目標が明確化しましたので、本当に良かったです。
- ・職場の若いスタッフとも SNS 事業についても情報を共有して、今後の広報や事業に活かしていきたいと思います。
- ・オンライン開催でしたので参加しやすく有難かったです。ありがとうございました。
- ・広報事業の課題はたくさんありますので、解決とまではいかないかもしれませんが、今回、広報誌を添削していただき、読んでいただくためのデザインについて具体的に知ることができました。その他、SNS の活用についてもセンター内で共有できればと思いました。
- ・広報に関する様々な情報を知ることができ、有意義な時間であった。この研修を受けて、このコロナ禍の中で情報取得手段がほぼ WEB に限られていたためか自分が「SNS を有効活用しなければいけない」という考え方に凝り固まっていたことに気づいた。やはり情報誌も、チラシも、WEB 媒体もすべて大切にしなければいけないことなのだと再認識させられた。また、SNS の使い方についての新たな情報を得ることができ、チラシを作成する上での重要ポイントも知ることができ、今後の業務に生かしていけると思う。今後、広報手段のさらなる多様化に対応していくために、どうすれば様々な広報を組織的に継続していけるかを考えていきたいと思った。
- ・すぐにでも活用できる、したいと思う情報がたくさんありました。この講義に参加して気づきや学びがたくさんありました。センター利用者の方々にも、同じように学びの場が提供できるよう、情報が行き届くよう努力したいと思います。
- ・まずは各センターさんの SNS へアクセスして、フォロー & コメントにてご挨拶したい。いずれは合同

セミナーや情報交換など横のつながりを強化できればと考えている。大変有意義な研修でした。ありがとうございました。

- ・ SNS の活用方法や広報誌のつくり方について有効なお話を聞くことができました。今後活かしていけそうなことが多かったです。
- ・ 私自身が、以前は県内市の男女共同参画センターで、男女共同参画に興味を持っていただくような講座を企画する部署におり、チラシ作成や広報などはたくさん行ってきましたが、現在は県の男女共同参画センターの情報部門に配属されたばかりで、市と県では全く違いますし、初めての経験をすることが多く、情報誌に関してもほとんど初心者です。そういうところに、こちらの講座へ参加させていただき、すごく助かりました。とても楽しく受講させていただいて、あっという間に時間も過ぎました。  
L i + L i n kを使用して、URLをまとめ(Twitter、インスタ等)の活用をしていきたいです。SNSは皆で発信していくこと、スタッフで今回学んだことを共有化したいです。センターにファンをたくさん作りたいと思います。
- ・ 担当として SNS を使った広報の必要性を大いに感じつつも、まだまだ紙媒体が主役の施設です。民間と同じようにはいかないことも多いですが、できることからコツコツ始めていきたいと思いました。他館の先進事例も聞くことができ、よかったです。そして、講座運営も大いに参考になりました。1日研修でしたが1コマを1時間~1.5時間程度に短めに設定したり、都度休憩があったりと、随所に工夫が感じられ、疲れることなく参加できました。集合写真、ワークもよかったです。ありがとうございました。
- ・ 今回は研修に参加させていただきありがとうございました。SNSの重要性など、具体的なことまで詳しく教えていただきとても勉強になりました。
- ・ この研修をしっかりと今後のリーフレット作り、広報誌に活用していきたいです。

#### <回答者属性>

